

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	実験実習ⅢB	
科目基礎情報							
科目番号	0113			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	電気電子工学科担当教員が作成したテキスト						
担当教員	大野 貴信,谷井 宏成,小原 翔馬						
到達目標							
各実験室の専門を生かしたテーマの実験を行い、その専門分野の講義内容について理解を深める。 実験を通して専門コースの講義を深く理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	理論を理解し実験の進め方について説明ができる。			実験のすすめ方を説明できる。		実験のすすめ方を説明できない。	
評価項目2	実験器具の測定原理と取り扱いを説明できる。			実験器具の取り扱いを説明できる。		実験器具の取り扱いを説明できる。	
評価項目3	報告書の考察に関する口頭試問に答えることができる。			報告書の実験結果に関する口頭試問に答えることができる。		報告書が未提出。	
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程 2(1) 準学士課程 2(2) 準学士課程 2(3) 準学士課程 3(1) 準学士課程 3(3) 準学士課程 4(1) 準学士課程 4(2) JABEE B-4 JABEE D-3							
教育方法等							
概要	各実験室の専門を生かしたテーマの実験を行う。						
授業の進め方・方法	実験における報告書は単に提出するだけではなく、必要に応じて担当教員の指導を受けること、内容が不十分な場合、再提出となることがある。 実験の詳細な進め方は別途資料を配布する。						
注意点	実験内容の予習を行い、実験やレポートの作成に対処できるようにしておくこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	実験内容についての説明		各実験テーマの内容を理解する。		
		2週	直流機の実験（電気機器実験室）		直流機について理解する		
		3週	製作実習1		製作物についてアイデアを出して決定する		
		4週	同期機に関する実験（電気機器実験室）		同期機について理解する		
		5週	製作実習2		必要な部品の選定を行う		
		6週	分布定数線路に関する実験（電子情報通信実験室）		分布定数線路について理解する		
		7週	製作実習3		ブレッドボード上で回路を実現する		
		8週	交流増幅回路に関する実験（電子工学実験室）		交流増幅回路について理解する		
	4thQ	9週	製作実習4		回路の評価および改善を行う		
		10週	発振回路に関する実験（電子工学実験室）		発振回路について理解する		
		11週	製作実習5		回路の評価および改善を行う		
		12週	製作実習6		ユニバーサル基板上で回路を実現する		
		13週	製作実習7		回路の評価を行う		
		14週	製作実習8		発表用PPTファイルの作成を行う		
		15週	製作実習9		発表用PPTファイルの作成，発表練習を行う		
		16週	製作物の発表会		製作物の発表を行う		
評価割合							
	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0